

事務事業名	消防協力会南アルプス支部支援事業		所属部局	消防本部		単位番号	13011																								
			所属課室	消防課		課長名	芦沢 俊一																								
			所属担当	防災指導係		担当者名	河田 聡																								
基本政策	基本計画体系	I	情報と連携の都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目																				
		06	安全な環境づくり		01	一般	09	01	01	03	02	2																			
政策		08	防災体制の充実	事業区分	☐ 国の制度による義務的事業 ☐ 施設等維持管理事業 ☐ 県の制度による義務的事業 ☐ 補助金交付事業 ☐ 市の制度による義務的事業 ☒ その他の事業 ☐ 義務化されている協議会等の負担金																										
施策																															
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 年度) 年度 ☐ 期間限定複数年度 (年度) 年度			法令根拠																											
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 3月:春の火災予防運動協力 5月:南ア支部理事会・定期総会 6月:山梨県定例総会 8月:消防団操法大会激励、防災の日協力 9月:支部ソフトボール大会協力 10月:支部演習協力 11月:秋の火災予防運動協力 12月:支部役員会 その他年間を通し現役団員への活動協力(火災の増加に伴い現役消防団員が緊急的に夜間パトロール等の活動支援をする)				事業費の主な内訳 (22年度) <table border="1"> <tr> <th>項目(細節)</th> <th>金額(千円)</th> <th>項目(細節)</th> <th>金額(千円)</th> </tr> <tr> <td>協議会・協会・団体</td> <td>85</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>計</td> <td>85</td> </tr> </table>							項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)	協議会・協会・団体	85													計	85
	項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)																											
	協議会・協会・団体	85																													
		計	85																												

1 現状把握 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	
22年度活動実績	各種消防行事への参加要請、派遣依頼等
23年度活動予定	各種消防行事への参加要請、派遣依頼等
② 対象 (この事務事業は誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	
山梨県消防協会 南アルプス支部会員	
③ 意図 (この事務事業により対象をどのような状態にしていのか、どのように変えるのか)	
消防団OBからの支援指導により現役団員の士気向上。地域の有識者であるため、近隣にすることで安心感が得られる。	
④ 上位目的 (どのような結果に結び付けるのか)	
災害時に、各地域のリーダー的な立場であり旧町村の横の繋がりからも情報の共有等が、円滑に行え市民不安心感も広がる。	

⑤ 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 消防団員数	人数
イ 協力した行事の数	人数
ウ	
⑥ 対象指標 (対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 消防協会会員	人
イ	
ウ	
⑦ 成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 団員	人
イ 消防協会会員の協力で活力が湧く	人
ウ	
⑧ 上位成果指標 (結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 有事の際に安心できる市民割合	%
イ	

(2) 事業費・指標の推移		単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終 (トータルコスト・目標)	年度
年間 トータル コスト	事業費 内訳	国庫支出金	千円							
		県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		一般財源	千円	89	85	85	85	85	85	
	事業費計 (A)		千円	89	85	85	85	85	85	0
	人件費	正規職員従事人数	人	3	3	3	3	3	3	
		延べ業務時間	時間	50	50	50	50	50	50	
		人件費計 (B)	千円	223	223	198	198	198	198	0
	(A)+(B)		千円	312	308	283	283	283	283	0
活動指標		人 数		751.0 13.0	726.0 13.0	741.0 13.0	800.0 13.0	800.0 13.0	800.0 13.0	
対象指標		人		64.0	64.0	65.0	65.0	65.0	65.0	
成果指標		人 人		751.0	726.0	741.0	800.0	800.0	800.0	
上位成果指標		%								

(3) この事務事業を取り巻く状況 (対象者・社会状況等) の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	各地区の元消防団長及び副団長で組織された団体であり、防災及び団体をまとめることに長げ、能力を有する際に発揮できればソフト面でも絶大な力を発揮できると考えられ発足しました。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	取巻き環境として、市からの補助金の減額等で会員より会費を集め活動をしているのが現状です。東海地震の発生も切迫しており協力会への期待ばかりが上昇しているのが現状です。
③ 事務事業に対して関係者 (市民、事業対象者、議会等) からどんな意見・要望が寄せられているか?	風水害及び火災、大規模地震等の発災時には、リーダーシップをとってもらいたいと要望されている。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	☐ 取り組みしている ⇒ [内容↓] ☒ 取り組みしていない ⇒ [理由↓]
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過 (取り組みしていない場合はその理由)	高齢の会員が殆どで、事業の拡大は予算も含めて難しい、現状維持で中身の濃い活動をしていきたいと思っている。
③ H 22年度に実施した改革改善の内容	現役消防団員への活動支援等。

事務事業名	消防協会南アルプス支部支援事業	所属部	消防本部	所属課	消防課
-------	-----------------	-----	------	-----	-----

2 評価 (Check1) 担当者による事後評価 (複数年事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない (見直し余地がある) ⇒ [理由↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 結びついている ⇒ [理由↓] 市民の安全な生活のために地元消防団のOBとして、災害時にもリーダー的存在として活動できるように、現役消防団員とも情報交換等をして災害時活躍し期待できる。
	②公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？民間やNPOに委ねることは可能か？	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 妥当である ⇒ [理由↓] 消防団OBとして、日常の火災等にも協力しているため、行政で行うのが妥当と思われる。
	③維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 適切である ⇒ [理由↓] 会員の高齢化もあり、活動には限度があるため現状維持が妥当と思われる。
有効性 評価	④成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☐ 向上余地がある ⇒ [理由↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 向上余地がない ⇒ [理由↓] 専門職の分野で、簡単に方向転換等は出来ない。
	⑤類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	☐ 類似事務事業がある ⇒ (類似する事務事業の名称を記入↓) ☐ 統合・連携ができる ⇒ [理由と具体案↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 統合・連携ができない ⇒ [理由↓] ☒ 類似事務事業がない
	⑥休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☒ 影響あり ⇒ [理由と影響の内容↓] 地域の災害弱者と呼ばれる方たちの把握も含め地域密着の有識者の情報は必要不可欠。 ☐ 休止・廃止ができる ☒ 休止・廃止できない ⇒ [理由↓] 地域の連携や情報が不足する事が考えられる。
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費 (コスト) を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒ [理由・具体案↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒ [理由↓] 活動資金として、会員から会費を集めて活動をしている部分もあり削減する理由が見当たらない。
	⑧人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？ (事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある ⇒ [理由・具体案↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒ [理由↓] 削減することで活動に支障がでるとされるため削減の理由が見当たらない。
公平性 評価	⑨受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由・具体案↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 公平・公正である ⇒ [理由↓] 市民を対象とした活動をしているため公平公正な事業といえる。

3 評価 (Check2) 担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括 (事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	活動資金 (補助金) が少ない為、会員からの会費も含めて活動をしていますので、補助金を上げて欲しい。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性 (Check1の結果から定める)・・・複数選択可		(3) 改革・改善による方向性																						
☐ 廃止 (目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 事業統合・連携 (有効性⑤の結果) ☐ 公平性改善 (公平性⑨の結果) ☐ 休止 (目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 成果向上 (有効性④の結果) ☒ 現状維持 (全評価項目で適切) ☐ 必要性検討 (目的妥当性①、②、③の結果) ☐ コスト削減 (効率性⑦、⑧の結果)		<table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト水準</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果水準</th><th>向上</th><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr><tr><th>維持</th><td>☐</td><td>☒</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td>☐</td><td></td><td></td></tr></table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要				コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☐	☐	維持	☐	☒		低下	☐		
		コスト水準																						
		削減	維持	増加																				
成果水準	向上	☐	☐	☐																				
	維持	☐	☒																					
	低下	☐																						
(2) 改革改善案について		(5) 事務事業優先度評価結果																						
①目的達成のために、事務局として努力をすること。		成果優先度評価結果																						
②会員の高齢化にともない事業内容の見直しが必要と思われる。		⑩																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策		コスト削減優先度評価結果																						
①事業内容により役員ばかりではなく、会員に広く参加する体制をとること。		⑥																						